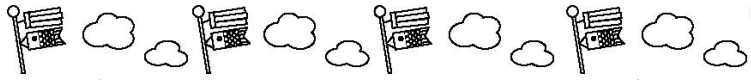


吹き渡る新緑の風を体いっぱいを受けて、鯉のぼりが気持ち良さそうに泳ぐ5月。お子さんたちも、保育園や幼稚園での生活に少しずつ慣れてきた頃でしょうか。



暖かさが増してくると、小鳥や虫など、小さな生き物たちも動きが活発になるようで、先日ワークに伺ったお宅の玄関先に、すごい数のアリの行列を見つけました。日ごろからアリの行動に興味があるSちゃん、早速観察を始め、長いこと見守っていましたが、アリたちの（汗水流しているであろう）果てしない作業に根負けして、「みんな一生懸命だね。」と感心しながらお家の中に入りました。

と、ところが！その数日後、アリについてのそんな思い込みを覆す衝撃の事実を、ある本を読んだ私は知ってしまったのです！

《働きアリの2割はサボっている》??

～稲垣栄洋著・身近な生き物たちのサイエンスより～

働き者のイメージがあるアリですが

実際に働いているアリは8割で、残りの2割は、あろうことか働いているふりをして怠けているというのです。

さらに面白いことに各集団から、働き者ばかりを集めてきても、やはり2割のアリは働かなくなってしまうといえます。

子供たちには知られたくない事実ですね。

（もちろんSちゃんにも・・・）

働くことの大切さを、アリに諭されたキリギリスが、この話を耳にしたらいったいどう思うのでしょうか。



お母さん！

たまには育児や家事を忘れて、ひと休みしましょうよ。♪
アリさんだって上手に息抜きしてるんですもの。